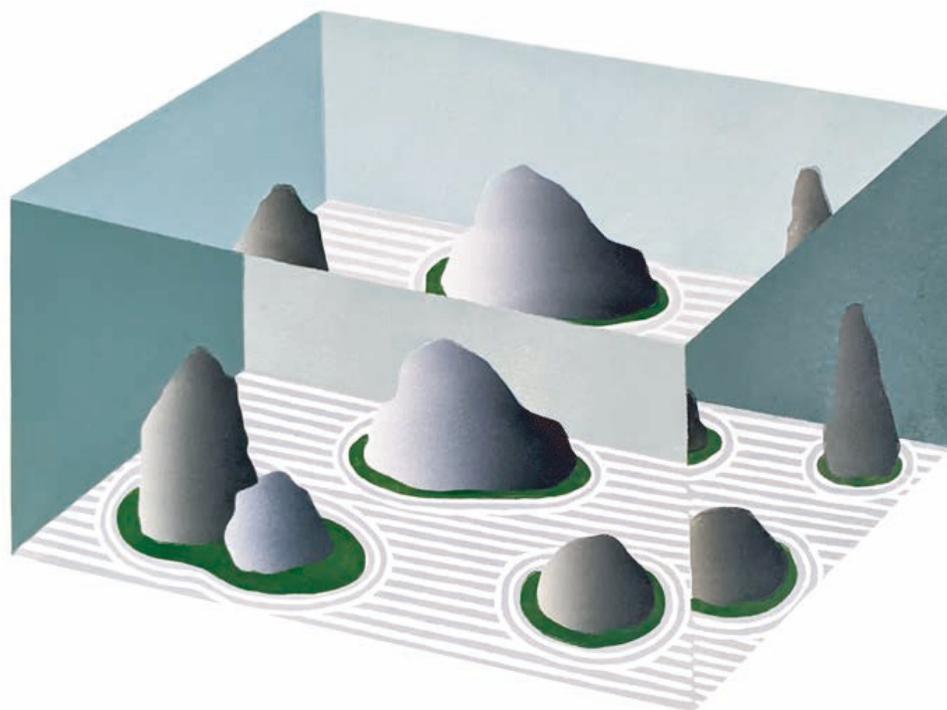


反復と脱力 | スズキマイコ

Repetition & Letting Go | SUZUKI Maiko

3月25日(水) - 4月04日(土)

OPEN pm 1-7 水・木・金・土曜(日・月・火曜休廊)



《枯山水》木版画、油性絵具 455x606 mm 2025

| 展示作品 | ・木版画 10点 ・立体 4点 計14点

+2ギャラリーでは、+1artでの企画展とリンクしながら、新進の若手作家による展覧会を開催しています。実験的な試みの発表の場として、ホワイトキューブではない小空間を活用した企画を行っています。

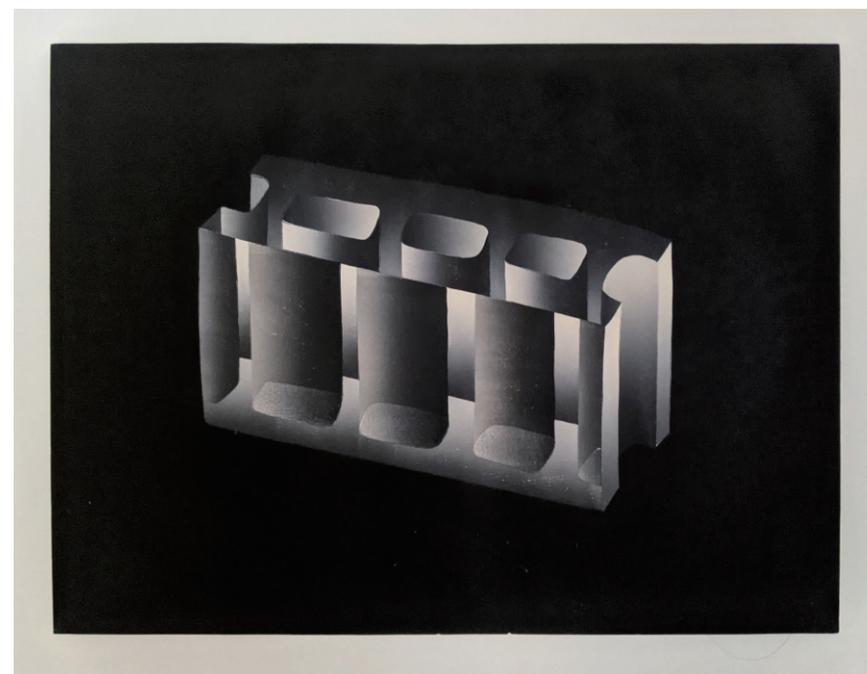
3~4月は、スズキマイコ展を開催いたします。

スズキの作品には、私たちが日常的に見慣れたものが、普段とは異なる表層をまとって登場します。さまざまな方向から分解・再構成された対象は、ユーモアとともに、ぎこちなさや違和感を呼び起こし、固定されたイメージから解放されるような感覚をもたらします。

見慣れた対象であればあるほど、私たちの認識はパターン化され、実在から距離を置いた概念的な存在へと移行しがちです。スズキの作品は、そのずれを静かに、しかし確かな違和感として提示します。

木版画と立体によって構成されるスズキマイコの世界を、ぜひご高覧ください。

+1art



《コンクリートブロック》木版画、油性絵具 545x727 mm 2025

SUZUKI Maiko

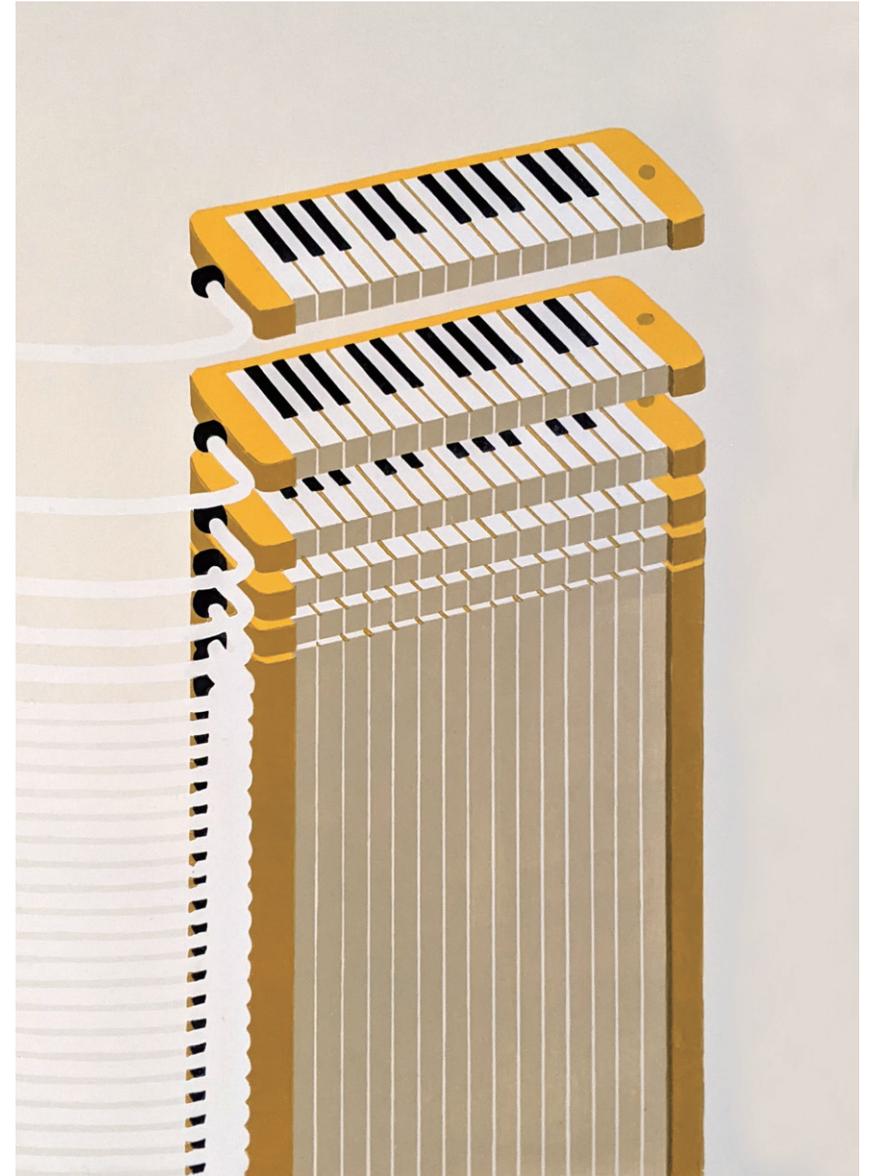


「作家コメント」 私たちは日常の多くを「見慣れたもの」として無意識に通り過ぎる。日用品や風景は、役割や意味を疑われることなく視界の背景に沈んでいく。
本展では、そうした何気ない対象をあえて立ち止まって見直し、視点を歪ませることで生じるズレや違和感を可視化する。光はまっすぐには届かず、対象の輪郭を不確かなものにする。木版画という反復と重なるの技法を通して日常は刷り直され、親しみやすさと空虚さを同時に帯びながら、見る側の視線そのものを問い返してくる。

「略歴」

1995 京都府生まれ
2019 京都市立芸術大学 美術学部 美術科 版画専攻卒業
2021 京都市立芸術大学 大学院美術研究科 修士課程 絵画専攻 版画 修了

2025 「チャリティ&オークション 安全な一日」 (+1art/ 大阪)
2024 「チャリティ&オークション 夢ではない」 (+1art/ 大阪)
2024 「Printmaking II」 (ギャラリーマロニエ / 京都)
2023 「チャリティ&オークション 音楽」 (+1art/ 大阪)
2022 「チャリティ&オークション オノマトペ」 (+1art/ 大阪)
2022 個展「量産と屈折」 (KUNST ARZT/ 京都)
2021 「チャリティ&オークション 10年後〜」 (+1art/ 大阪)
2020 個展「集団の分断」 (KUNST ARZT/ 京都)
2019 「A-Lab Artist Gate 2019 新鋭アーティスト発信プロジェクト (あまらぶアートラボ / 兵庫)



《ピアノ》木版画、油性絵具 606x455 mm 2026